



AREA軽井沢が1周年を迎えて・・・ 施設長・針木 小太郎

いつも温かい御支援・ご声援を頂きありがとうございます、施設長の針木です。
今月1日をもって、当所・AREA軽井沢は無事1周年を迎える事ができました。
何もかも初めての経験に私自身が戸惑い、右往左往しているのを“悟られまい！”と、
つい昔の悪い癖も散りばめながらここまで来れたのは、皆様のおかげと思っています。
改めてこの場をお借りして深謝申し上げます。

1年前の天気はあいにくの雨模様でしたが、1年後のその日はきれいに浅間山が見える快晴の一日でした。
また、この日は2名の卒業生が社会復帰を迎えた日でもあり、そのうち1名は当地・北軽井沢のホテルへの就職、もう1名は引き続きピアサポート(当事者支援)に携わりたくと早々より話してくれていた白石 航の正規職員採用で、その日を迎えられたことがとてもよかったと思っています。

施設運営が決して順風満帆だったわけではありません。卒業生がいる一方で、社会の中で模索していきたいと自主退寮の道を選んだ方も当然います。

うまく行かず、目まぐるしく過ぎ去っていく日々に関心を感じ、欲求を覚えたこともゼロではありませんでした。
でも、この1年を振り返ってみれば私は“楽しい”という言葉に尽きるんです。

日々の出来事やこれから先に目指している事(依存症当事者である事=妄想に近いとも言えませんが…)を楽しそうに話す“先行く仲間”の表情をいつも思い出します。

この人のように話せたら、そう思っていた私にこの一年を与えてもらったことは、依存症当事者として正々堂々と生きていく思いを強くしてくれました。

当所を卒業(あるいは自主退寮)し、社会復帰した仲間のところをめぐって互いの近況を話したり、愚痴を吐きあいながら食事をする事が私の将来の夢、もとい“楽しそうな妄想”になりました。そのために今日も“今日一日”を続けていきたいと思っています。

1年間の御礼、私の拙いお話をてんこ盛りにした“1周年フォーラム”は5月20日(水)開催を予定しています。
また、5月14日～20日は“ギャンブル等依存症問題啓発週間”であり、これに合わせた複数イベント開催も合わせて計画しております。
ぜひ皆様に直接お会いし、ご挨拶とお礼を申し上げる機会を頂ければ大変幸いです。

プログラムの様子 ～アートプログラム～



アートってなんなんですかね。正直、ぼくたちもよくわかっていません。当施設のアートプログラムは入寮生にお任せ。みんなでやることを決めて、自由気ままに“アート”しています。新聞紙でぐるまを作ったり、みんなの似顔絵を書いたり、施設の Mascot キャラを考えてみたり…。何が正解かなんて誰にもわかりません。

だけど、何をするか決めるときによく出るフレーズは、
「それはアートじゃない」

みんなわからないなりにアートへの想いがあるのです。ぼくたちギャンブル依存症は、神様とか愛とか、形のないものは苦手なのですが、それでも「アートとは何か」をプログラムの中で考えています。よくわからないけど、とりあえず新聞紙を丸め続ける…。

「とりあえずやってみる」というマインドがぼくらには足りなかったのかもしれませんが。意味のないことに意味を見出して楽しむ。この姿勢があれば世界の見え方も変わってくるかもしれません。これからもお互いに「それ、アートじゃない！」とつつこみながら、よくわからないものを作っていきます。

スタッフ研修 あんご

LINE相談 実施中!



9:00～17:00

スタッフのつづやき スタッフ研修Taku

4月に入り、北軽井沢も少しずつ暖かくなってきました。
とはいえ、まだ寒暖差が激しく、服装に悩まされる日々が続いています。
日中は過ごしやすい気温の日も増え、寮生たちの活動も活発になってきました。
散歩に出かけたり、外でエイサーの練習をしたり...
そんな様子を見ているだけでも季節を感じます。
一方で、私は寒さが苦手なためまだ少し冬眠気分ですが、
1周年という節目の月でもあるので、
そろそろしっかりと目を覚ましていこうかな、と思っている今日この頃です。

一般社団法人AREA

AREA軽井沢

(Address) 群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢
2032-2172
(TEL) 0279-82-1694
(MAIL) area-karuizawa@hotmail.com
(WEB) https://area-karuizawa.com

